



Vol.3

海と都をつなぐ往来文化 御食国若狭と鯖街道

小浜市・若狭町

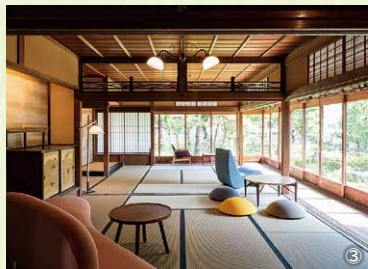
古くは「御食国^{みけつくに}」として都の食を支えてきた若狭。食と共に物資や人が往来し、街道には多彩な文化が生まれまわった。そのストーリーは全国で唯一「日本遺産プレミアム」に選定されています。

起点となる湊町・小浜には様々な物資が集結。近世初頭には小浜市場も整備され、流通の一大拠点となりました。市場の記録「生鯖塩して担い京に行き仕る」からも、当時の様子がうかがえます。

この「一塩」の海産物が京へと運ばれるルート（鯖街道）の中で、最大の物流量を誇ったのが「若狭街道」です。その中継地として繁栄した熊川宿では、背負いの

運びや物資を積んだ牛馬が行き交いにぎわいました。現在も宿場町の面影を残す建物が建ち並び、人馬の飲み水などに使われた「かわと」とよばれる水路には、清らかな水が静かに流れています。

こうして多彩な文化遺産を育んだ鯖街道には、近年、古い建物を活用した宿泊施設やカフェなどが続々誕生。歴史にあやかったグルメや文化を気軽に楽しめます。熊川宿では子どもや障がい者、現代美術の作品を展示した「熊川宿若狭美術館」が、新しい美術文化を発信。1500年の歴史を今に伝える街道では、新旧多様な文化に出会うことができます。



①3月2日に「お水送り」神事が行われる神宮寺／小浜市神宮寺 ②宿場町の面影を今に伝える熊川宿の町並み ③市民らが集える場に生まれ変わった北前船主古河屋の別邸「護松園」／小浜市北塩屋 ④⑤鯖街道にちなんだ鯖グルメや熊川宿名産の葛きりなど“美味”がいっぱい ⑥銀行や酒蔵として使われていた古い建物を改装。共生社会の新しい形を示した「熊川宿若狭美術館」

<お問い合わせ>

文化課 TEL/0776-20-0582

千年文化について
詳しくはこちら→



TOPIC

「日本遺産」と「プレミアム」

「日本遺産 (Japan Heritage)」は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が認定するものです。「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国 (みけつくに) 若狭と鯖街道～」は2015年に日本遺産の第1弾のひとつに認定されました。さらに24年には最上位ランクとなる「日本遺産プレミアム」に全国で唯一選ばれています。